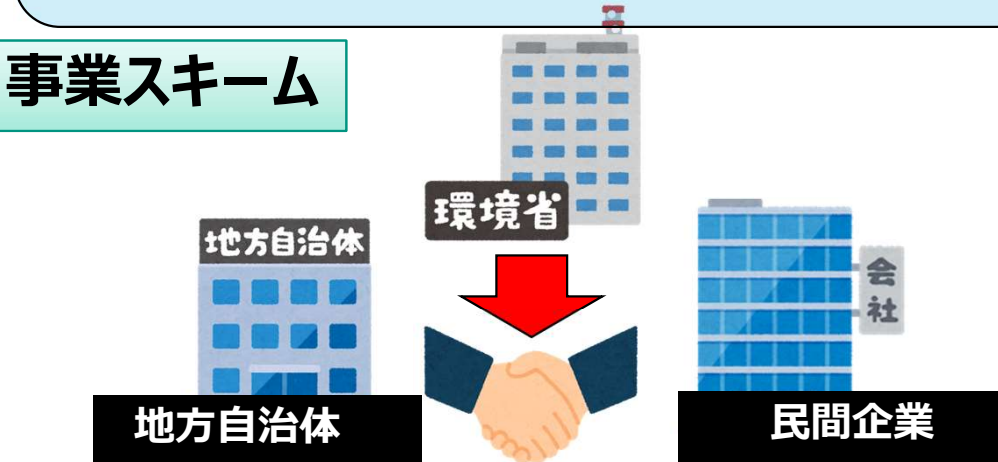


- 海洋ごみの回収・発生抑制の実効性を高めるため、自治体と企業等の連携による自走性ある取組の実証を支援し、海ごみ法に沿って広く展開。
- 漂流漂着ごみの回収処理負担の軽減や地域の魅力向上にも貢献。

事業スキーム



- ① 海ごみ対策を売りにした地域ブランドや、地元企業の海ごみ対策技術の活用など、**地域の特徴に合った事業プラン**策定
- ② **企業と自治体をマッチング**し、連携体制を構築
- ③ 地域住民の海ごみ問題への**理解を増進**し、住民を巻き込んだ地域おこしで**需要・参加を喚起**
- ④ 海ごみの回収や発生抑制の実効性向上の**効果・課題を事後検証し、PDCAサイクルを回す**
- ⑤ **海ごみ対策法に基づく計画・対策のモデル**として一般化し、全国各地域での実装を促進

R3年度事業の例

- ① 代替素材等やり
サイクル品の開
発・啓発等



ポリタンクをア
ップサイクルした
製品を活用した
啓発
@山口県

- ② マイボトル・マイ容
器等の普及等
(内陸部での取組)



エコテイクアウト実
践店舗の拡大
@真庭市

- ③ 「ナッジ理論」の
活用と実践によ
るごみ排出抑制



観光客をごみ
拾い側にする
イベントの実
施
@和歌山市

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（2050年海プラ追加汚染ゼロ）」実現に向けた具
体的アクションとして、国内外に広く発信。